

プレスリリース

[展 覧 会]

神戸開港 150 年記念事業

船大工 Shipwright 三陸の海と磯船

2016. 3.26 sat → 5.22 sun

「船大工 三陸の海と磯船」展
〈記事掲載・放送紹介のお願い〉

わが国唯一の大工道具をテーマにした博物館、竹中大工道具館（神戸市中央区）では2016年3月26日（土）から5月22日（日）まで、神戸開港150年記念事業として「船大工 三陸の海と磯船」展を開催いたします。

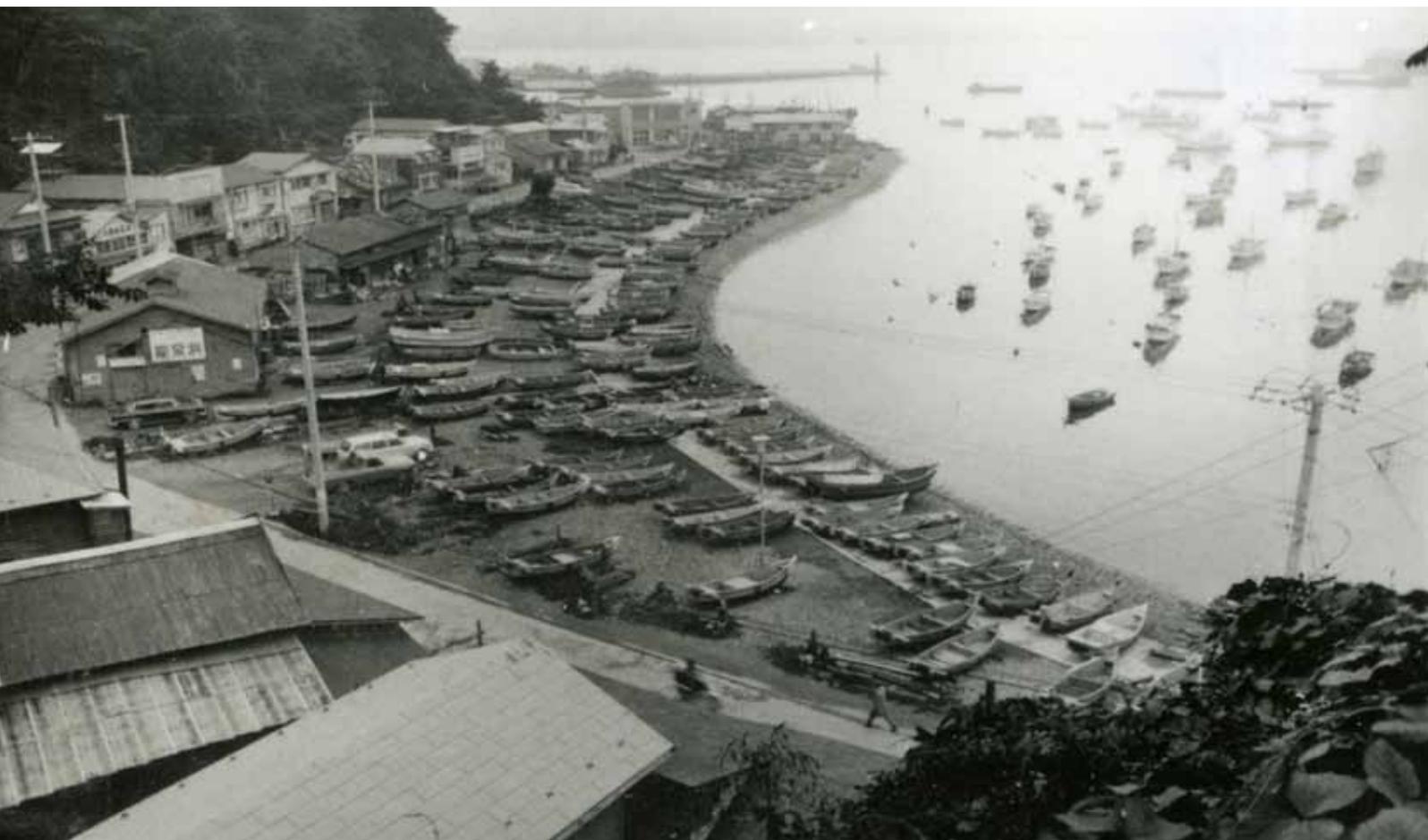
家大工と同じく木を使う匠「船大工」。しかし、工法や道具はずいぶん異なります。かつて世界一となった日本の造船業は、木造船の時代から培われた船大工と鍛冶の技が発展したものです。今回の企画展は、そんな船大工の世界を道具の視点から解説するものです。

今では木造船はその役目を終え、船大工もほとんどいなくなっていました。しかし、その貴重な伝統技術を保存するため、実際に師事してその技を継承する活動をしているアメリカ人船大工がいます。ダグラス・ブルックス氏は、東日本大震災で壊滅的な被害を被った三陸地方の船大工村上央氏ひろしに師事しました。今回はその磯船を実際に制作する工程を公開します。

普段見ることのできない貴重な機会ですので、ぜひとも貴媒体にて広くご紹介くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人竹中大工道具館

昭和時代の三陸風景



《展覧会の見どころ》

- ・「道具」を使いこなす「人」の技と知恵、心から生まれる木の文化について広く知るために、ものづくりの国を代表するもう一つの木の文化として和船と船大工を紹介します。
- ・和船の歴史や特徴を道具発達史の視点を交えて解説します。さらに外国人船大工が実際に船を造る現場を公開します。常設展示とリンクしながら見ることで、木工の知識が深まります。
- ・難しくなりがちな匠の技とその世界について、直に職人と接し、自らの手でつくって考え、楽しみながら理解できるプログラムとなっています。

第1章 海と生きる暮らし

海に生きるとはどういうことなのか。各地の海の特性について、そこで生まれた産業や漁業を紹介し、その手段として生まれた技術を解説します。下記項目の展示を通して、日本各地にはさまざまな人と海の関わりがあり、その中から海で生活するための知恵が生まれてきたことを紹介します。

- ①都市を支えた海運
- ②神仏への祈り
- ③三陸の海の恵みと脅威

第2章 和船を造る

各地の造船技術の概要を解説するとともに、主に東日本大震災で壊滅的な被害を受けた三陸海岸の磯船の工法を紹介します。国内各地の木造船の形状と用途についてその歴史の変遷を道具発達史と関連しながら解説します。

- ①和船のかたちと木工の歴史
- ②いろいろな和船
- ③船を造る道具と材料
- ④船を造る

[1] 製作工程 (タナイタツケ)



《主な展示》

◎船の製作工程実演



[2] 製作工程 (板図)



[3] 製作工程 (シキづくり)



[4] 製作工程 (焼曲げ)



製作工程 (トダテツケ)



製作工程 (タナイタ型取り)



[5] 製作工程 (ミヨシ加工)



製作工程 (完成)

◎展示品



『摂津名所図会』



[6] たらい船



[7] 和船模型（縮尺 1/32）



製作道具



[8] ダグラス・ブルックス (Douglas Brooks)

▶ダグラス・ブルックスプロフィール

船大工。ジャーナリスト。

1960年米国コネチカット州ディープリバー生まれ。1980年同州ミスティック・シーポート博物館にてウィリアム・カレッジのアメリカ海洋学コース修了。1985年～1990年サンフランシスコ国立海洋博物館の専属船大工を務める。1990年来日。1996年たらい舟の技術を習得して以来、日本各地の和船技術習得に努める。

《記念イベント》

企画展特別講座 「船大工が語る海」

アメリカ人船大工と師匠村上央氏に海と船についてお話し頂きながら、造船仕事の工程についても体験しながら理解する講座を開催します。

①船のかたち「板図と墨付け」②木工技術Ⅰ「焼曲げ」③木工技術Ⅱ「擦り合わせ～^{すりのこ}擦鋸と釘差鑿」

日 時 = 2016年①3月27日(日)②4月3日(日)③5月1日(日) 各日ともに13:00～15:00

場 所 = 竹中大工道具館特設会場またはB2F木工室

講 師 = ①・③ダグラス・ブルックス(船大工・ジャーナリスト)

②ダグラス・ブルックス、村上央(村上造船所)

定 員 = 40名(要申込、参加費無料)

申込締切=いずれも2016年3月18日(金)必着

神戸開港150年記念イベント 「和船進水式」

実演で製作した船の進水式を行います。船卸の儀を神官に司って頂き、進水式の後、実際に乗船します。

日 時 = 2016年5月7日(土)13:00～16:00

場 所 = 神戸港(メリケンパーク)

定 員 = 100名(要申込、見学のみも可。)

申込締切 = 2016年4月15日(金)必着

※小学校3年生以下のお子様は保護者をご同伴ください。

※天候不順により欠航になる場合があります。



[9] 進水式イメージ

第75回「技と心」セミナー

「船のかたち ヨーロッパと日本の造船技術の違いについて」

世界の造船技術の多様性と進化の歴史について専門家にお話を伺います。ヨーロッパ船との違いや製材鋸や釘の使用、ネジの出現などの木工技術の視点から和船の歴史を考えます。

日 時 = 2016年5月15日(土)13:00～15:00

場 所 = 神戸海洋博物館多目的ホール

講 師 = 松木哲(神戸商船大学名誉教授、日本海事史学会副会長)、

金田隆(姫路藩和船建造委員会委員、六甲学院)

定 員 = 300名(要申込、参加費無料)

参加費 = 無料(神戸海洋博物館の見学には別途入館料が必要)

申込締切 = 2016年4月22日(金)必着



ロドニー号(神戸海洋博物館蔵)

「ちょこっと木工」期間特別企画

「木の船をつくろう！」

船大工展の特別企画として木で小さい船を造るワークショップを開催します。ゴム動力で動く「モーターボート」と帆がある「和船」を作ります。

開催日 = 2016/3/26、4/2、4/9、4/16、4/23～24、4/29、
4/30、5/3～5、5/7、5/14～15、5/21～22
※「ちょこっと木工」開催日に準じます。

開催時間 = モーターボート 10:00～12:00/13:00～16:00

のお好きな時間

- 和 船 ① 10:30～12:00
② 13:00～14:30
③ 14:30～16:00

場 所 = 竹中大工道具館 B2F 木工室

参加費 = モーターボート 500 円、和船 800 円

対 象 = モーターボート：小学校 1 年生以上

和船：小学校 4 年生以上

申 込 = 不要（当日先着順、なくなり次第終了）

※モーターボートは各日 10 艘（先着順）まで、和船は各回 3 艘（先着順）までの受付となります。

※作った船を実際に浮かべるプールもご用意しています。プールでは製作した船以外にも笹船、ポンポン船なども楽しんでいただけます。



モーターボート



和船

【イベント申込方法】 ウェブメールまたは往復ハガキに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブ
メール

「船大工 三陸の海と磯船」展公式サイト (http://www.dougukan.jp/special_exhibition/funadaiku) のページよりお申し込みください。

ハガキ

〔往信用裏面〕イベント名、氏名（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号
〔返信用表面〕宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。裏面は未記入でお願いします。
〔お申し込み先〕〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館
「船大工 三陸の海と磯船展イベント」係

- *応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- *ハガキ1通につき1名様でお申し込みください。
- *ご参加の可否の詳細は締切日以降10日程でご連絡いたします。
- *ご記入いただいた情報は厳重に管理し、企画展記念イベント以外の目的には使用いたしません。
- *展示やイベントの日時・内容は変更になることがあります。最新の情報は「船大工 三陸の海と磯船」展公式ホームページにてご確認ください。



竹中大工道具館外観

《展覧会概要》

名 称 = 船大工 三陸の海と磯船

会 期 = 2016年3月26日 [土] ~ 5月22日 [日]

会 場 = 竹中大工道具館 1F ホール

〒 651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1

TEL : 078-242-0216 FAX : 078-241-4713

開館時間 = 9 : 30 ~ 16 : 30 (入館は 16 : 00 まで)

入 館 料 = 一般 500 円、大高生 300 円、中学生以下無料、
65 歳以上の方 200 円 (※常設展観覧料を含む)

主 催 = 公益財団法人 竹中大工道具館

後 援 = 兵庫県教育委員会、神戸市、神戸開港 150 年
記念事業実行委員会、姫路藩和船建造委員会

協 力 = 船の科学館・海の学びミュージアムサポート、
金田隆 (姫路藩和船建造委員会委員、六甲学院)、
昆政明 (神奈川大学特任教授)、高田敬一 (高田工芸)
村上央 (村上造船所)、赤穂市教育委員会、オクムラ
ポート販売株式会社、株式会社長谷木、国立民族学
博物館、神戸大学海事博物館、神戸海洋博物館、瀬
戸内海歴史民俗資料館

公式サイト <http://www.dougukan.jp/funadaiku>



竹中大工道具館 1F ホール



〈アクセス〉

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約 3 分

神戸市営地下鉄「新神戸駅」北出口 1 または北出口 2 より
徒歩約 3 分

神戸市バス 2 系統・18 系統「熊内 6 丁目」下車徒歩約 2 分

〈お問い合わせ〉

「船大工 三陸の海と磯船」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒 651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 TEL : 078-242-0216 FAX : 078-241-4713 E-mail : funadaiku@dougukan.jp

▲ FAX 078-241-4713

(E-mail: funadaiku@dougukan.jp)

竹中大工道具館「船大工 三陸の海と磯船」展 広報事務局 行

「船大工 三陸の海と磯船」展 画像使用申込書

- ▶ 画像データ (JPEG) をご提供いたします。下記記入欄にご記入のうえ F A X またはメールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ▶ 読者プレゼントとして当館招待券ペア (2枚) 5組を提供することができます。
- ▶ その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

媒体名		
掲載予定日		
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
画像名 (番号に✓)	<input type="checkbox"/> 1	製作工程 (タナイタツケ)
	<input type="checkbox"/> 2	製作工程 (板図)
	<input type="checkbox"/> 3	製作工程 (シキづくり)
	<input type="checkbox"/> 4	製作工程 (焼曲げ)
	<input type="checkbox"/> 5	製作工程 (ミヨシ加工)
	<input type="checkbox"/> 6	たらい船
	<input type="checkbox"/> 7	和船模型 (縮尺 1/32)
	<input type="checkbox"/> 8	ダグラス・ブルックス (Douglas Brooks)
	<input type="checkbox"/> 9	進水式イメージ
読者プレゼント	希望する / 希望しない	

- ・画像をご使用の際はご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさいないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局まで FAX 送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

(お問い合わせ先)

「船大工 三陸の海と磯船」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713 e-mail: funadaiku@dougukan.jp